



平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )				
				所 属	安全環境		部		自然環境		課		自然公園管理		G
事 業 名		自然環境保全関係審議会運営費		含まれる事業数	1	事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 始 度	昭 和 48 年 度 経 過 年 数	事 業 終 了 予 定 年 度	一 年 度	事 務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
福井新元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]			<input checked="" type="checkbox"/> 県 単		<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他							
[事業目的]															
自然環境の保全に関する重要事項について知事の諮問に応じ調査審議するため、福井県環境審議会の部会を置く。															
[事業内容]															
福井県環境審議会の部会を開催する。 部会 自然環境部会、野生生物部会															
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)															
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類						
当初予算額の推移		654	683	672	877	897	8.9%								
2月現計予算額の推移		117	240	230	198	289	33.3%								
決算額の推移		76	124	163	140		26.9%								
事業効果 の推移	活動 指標	部会開催回数		1	2	2	2	3	37.5%	I					
	成果 指標	特記事項に記載の内容で開催													
区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項											
予 算 額 (単位：千円)		289		平成22年度 9月 野生生物部会開催 3月 自然環境部会、野生生物部会開催											
財源内訳	国 庫														
	その他特定財源														
	一 般 財 源	289													
[事業の評価]															
所 属 の 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 自然環境の保全に関する重要事項について、知事の諮問に応じ調査審議しており、自然環境保全のための施策に生かしている。					評 価 に 基 づ く 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し						
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 審議会の意見を今後の自然保護行政に反映させる。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了						
							<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他						
							見 直 し 額	千 円							

平成22年度事務事業カルテ

別紙1

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )			
事業名		鳥獣害のない里づくり推進事業	含まれる事業数	1	所 属	安全環境 部	自然環境 課	自然環境保全 G
福井新元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な産業] <input type="checkbox"/> 無 政策 [力強いプライドの農林水産業]		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 平成14年度 経過年数 9年	事業終了 予定年度 一年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]  
 近年、シカやイノシシなど一部の野生鳥獣が、生息環境の変化に伴う個体数増加等により、農林業に多大な被害を与えている。野生鳥獣の個体数の適正化と農林業被害の軽減を図るため、捕獲者の知識・技能の向上、鳥獣の分布状況の分析を進めるとともに、効率的・効果的な駆除を促進する。

[事業内容]  
 駆除対策  
 ① 捕獲隊員技術研修会開催補助、職員の各種研修受講  
 ② 有害鳥獣分布等の情報収集・分析

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移		12,158	13,069	13,874	26,944	1,584	3.5%		
2月現計予算額の推移		15,228	13,619	19,244	26,944	1,744	△ 5.7%		
決算額の推移		15,115	13,449	19,244	24,812	1,620	△ 8.1%		
事業効果 の推移	活動 有害駆除実施市町村数	17	17	17	17	17	0.0%		II
	指標 捕獲技術研修会の受講人数	322	386	382	568		22.5%		I
	成果 有害駆除頭数	5,256	4,419	6,092	7,836	12,599	27.9%		I
	指標 総被害面積 (ha)	456	431	430	446	425	△ 1.7%		III
計画の達成状況 [目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標					年度 [ ] = [ ]		

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	1,744	H22.4～農林水産振興課へ所管換え 市町による駆除経費の助成(補助率1/2、上限5,000円/頭) 対象:シカ、イノシシ、サル、クマ、アライグマ	
財源内訳			
国庫			
その他特定財源			
一般財源	1,744		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 有害鳥獣分布状況の情報提供や、猟友会の捕獲隊員技術研修会開催経費および市町の有害鳥獣駆除経費についての助成などにより、有害鳥獣駆除が効率的、効果的に行われた。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 農林水産部と連携し、狩猟規制の大幅な緩和とあわせて、市町の駆除経費の助成の拡充や捕獲者の確保・育成を図り、駆除を更に強化していく。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名	里地里山保全活用推進事業	含まれる事業数	1	所 属	安全環境	部	自然環境	課	自然環境保全	G
福井新元気宣言における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 一ビジョン [元気な県政] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [夢と誇りのふるさとづくり]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開 業 始 度 年	平成20年度 経過年数 3年	事業終了 予定年度	一年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

**[事業目的]**  
 福井の生活や文化の基盤であり、豊かな自然が残る里地里山の保全と活用を図るため、地域住民や県、市町、専門家等が連携して各地域の里地里山を計画的に保全活用するための地域計画を作成し、各地域での計画に基づく住民主体の積極的な取組みを推進する。

**[事業内容]**  
 県が選定した重要な里地里山30地区の中のモデル地区において、地域資源の活用方法や自然再生活動等に関する指導・助言を行う専門家等を派遣して、里地里山の保全と活用を自主的に進めるための計画の策定を行う地域住民グループを支援。

**[予算額および指標の推移等]** (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移			430	927	1,427	84.8%		
2月現計予算額の推移			430	927	927	57.8%		
決算額の推移			430	732	849	43.1%		
事業効果 の推移	活動 指標	専門家等派遣地区数	2	2		0.0%	2地区/年×5(30地区のうち10地区を5カ年で計画作成)	II
	成果 指標	地域計画作成地区数(累計)	2	4		100.0%	2地区/年×5(30地区のうち10地区を5カ年で計画作成)	I
	指標	保全協定締結地区数(累計)	0	1		100.0%		I
計画の達成状況	[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標				年度[ ] = [ ]	

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	927		地域住民が里地里山の価値を再認識し、計画に基づく保全活動を継続することで里地里山の自然環境が再生されるとともに、自然と共生する心豊かな生活を実現
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	927	

**[事業の評価]**

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 地域住民が、専門家のアドバイスのもと、自ら地域の貴重な自然や文化を発掘し、保全計画を作ることで、環境保全への理解が高まり、地域がまとまったの保全体制づくりが進んでいる。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 貴重な里地里山の環境を守っていくには、地元住民の理解と、主体的な取組みが必要であり、その体制づくりのため、今後も継続し、体制が整った地域については、保全協定を締結していく。	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円
-----------	---	---	--	---

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
				所 属	安全環境	部	自然環境	課	自然環境保全		G	
事 業 名	外来魚防除対策事業	含まれる事業数	1	事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 開 始 年 度	平成20年度 経過年数 3年	事業終了 予定年度	一 年 度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
福井新元氣宣言における 位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン〔元氣な県政〕 <input type="checkbox"/> 無 政 策〔夢と誇りのふるさとづくり〕				<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補 助 金						<input type="checkbox"/> そ の 他
[事業目的]												
県内のため池と内水面漁場における外来魚（オオクチバス・ブルーギル等）による生態系被害、水産業被害の防止、密放流と拡散の抑止のため、県民への普及啓発と地域住民による防除作業を推進する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来魚の正しい知識についての普及啓発</li> <li>・ 外来魚のため池における生息状況の把握</li> <li>・ 緊急駆除を必要とするため池を選定し、モデル駆除を実施</li> <li>・ 駆除に必要な器具(ボート、ポンプ等)の貸出</li> </ul>												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移				1,993	743	656	△ 37.2%					
2月現計予算額の推移				1,993	743	656	△ 37.2%					
決算額の推移				1,738	639	628	△ 32.5%					
事業効果 の推移	活動 指標	モデル駆除実施ため池数		1	1	1	0.0%	1箇所/年×5				II
	指標	自主的駆除実施ため池数		0	1	1	0.0%					I
	成果 指標	モデル駆除での外来魚駆除数		29,101	4,886	3,808	△ 52.7%					IV
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準〔 〕 / 整備目標 年度〔 〕 = 〔 〕										
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
		予算額 (単位：千円)										
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源											
	一 般 財 源		656									
[事業の評価]												
所 属 の 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価]				評 価 に 基 づ く 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し				
	・ 希少野生生物が生息している貴重なため池を選定し、地元住民と行政が連携して駆除を実施することにより、住民の環境保全意識の向上、外来魚密放流監視の強化につながっている。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]					<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
	外来魚についての正しい知識の普及と地域住民による防除の推進のため、モデル駆除および用具の貸し出しを引き続き実施していく。					見 直 し 額	千 円					

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
				所 属	安全環境 部	自然環境 課	自然公園管理	G		
事業名	ラムサール条約湿地「三方五湖」保全・活用推進事業	含まれる事業数	1	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 平成19年度 経過年数 4年	事業終了 予定年度 22年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
福井新元気宣言における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン〔元気な県政〕 <input type="checkbox"/> 無 政 策〔夢と誇りのふるさとづくり〕									
[事業目的]										
ラムサール条約湿地「三方五湖」の自然環境の再生に向けて、保全活動に係る経費が、そこから得られる産物の活用によって賄われ、保全と活用の取組みが一体的に持続する仕組みづくりを推進する。										
[事業内容]										
三方五湖の自然環境の保全と活用を一体的に行う地域グループの初期投資経費(調査研究、商品等開発、PR等)の助成										
実施主体 地域住民、環境保全団体、経済団体、町、事業者等で構成するグループ										
補助率1/2 上限2,500千円/年 3年間/件										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)										
区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移		2,500	5,000	5,000	2,500	16.7%				
2月現計予算額の推移		1,975	4,938	5,000	2,500	33.8%				
決算額の推移		1,975	4,938	5,000	2,500	33.8%				
事業効果 の推移	活動 指標	調査研究等取組数	3	7	10	88.1%	調査研究、商品等開発、PR等	I		
	成果 指標	保全と活用を一体的に行うグループ数	1	2	2	16.7%	H19:1グループ H20:1グループ 計2グループ	I		
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度[ ] = [ ]				
[事業の評価]										
区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項							
予 算 額 (単位：千円)	2,500	H21.3 若狭町内グループ事業完了 H23.3 美浜町内グループ事業完了								
財源内訳	国 庫	2,500								
	その他特定財源									
	一 般 財 源	0								
所 属 の 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 19年度からは、若狭町内のグループが、シジミやヒシによる水質浄化、食の開発、自然体験などの取組みを、20年度からは、美浜町内のグループが、久々子湖において、シジミとヨシによる水質浄化、ふゆみずたんぼによる野鳥の生息環境保全、食の開発、自然体験などの取組みを始めている。各種団体の連携により、保全と活用が結びついた取組みが始まっている。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 各種団体が連携し、保全と活用が結びついた取組みが始まっており、一定の成果が得られたことから、当事業を廃止する。			評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し					
	<input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了									
	<input type="checkbox"/> 整理統合 <input checked="" type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他									
	見 直 し 額	△ 2,500 千 円								

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
				所 属	安全環境	部	自然環境	課	自然環境保全		G	
事業名	コウノトリを呼び戻す田園環境再生事業	含まれる事業数	1	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	平成20年度 経過年数	事業終了 予定年度	一年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な県政] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [夢と誇りのふるさとづくり]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金						<input type="checkbox"/> その他
[事業目的]												
水田環境に生きる生物の生息環境を再生し、昔から水田が育んできた多くの生き物と人間の双方にとって良好な田園環境の再生を推進する。												
[事業内容]												
取組者への支援（上限25万円×10団体） ・ふゆみずたんぼの実施・拡大 ・魚道や生き物の逃げ場所（ビオトープ）の確保 ・生物増加量調査の実施												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移				1,985	1,964	2,500	13.1%					
2月現計予算額の推移				1,985	1,964	2,500	13.1%					
決算額の推移				1,985	1,963	2,315	8.4%					
事業効果 の推移	活動	モデル事業実施地区数		5	5		0.0%	5地区(H21で終了)				II
	指標	取組団体数				15	0.0%	10団体(H22から)				
	成果	モデル地区取組水田面積		4.5ha	4.5ha		0.0%	(H21で終了)				II
	指標	ふゆみずたんぼ・魚道等実施数						(H22から)				
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標				年度[ ]		= [ ]		
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予算額 (単位：千円)		2,500		平成21年度で終了 ①モデル地区現地研修会 ・自然環境の保全・再生・活用の意義 ・ふゆみずたんぼと水田魚道の実施方法 ②モデル地区での試験的实施 ・ふゆみずたんぼと水田魚道を試験的に実施し効果を実証				水鳥をはじめとする多くの生物と人間の双方にとって良好な田園環境づくり				
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源											
	一 般 財 源	2,500										
[事業の評価]												
所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価]				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	・重点モデル地区での専門家による研修、アドバイスにより、地域住民の意欲が高まっている。 ・一部の地域では水鳥が飛来している。 ・平成22年度からは、ふゆみずたんぼの実施等に取り組む15団体に対して支援した。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
	水田生態系のシンボルとなる大型水鳥、指標生物であるカエル、ドジョウ、ホタル、バッタ、水草などの生物を、県内の水田環境において再生するため、水田の自然再生に関心のある農業者等に対し、自然再生や生物調査の手法を伝達、助成し、取組みの継続・拡大を図る。 平成22年度からはふゆみずたんぼの実施等に取り組む団体に対して支援する。					見直し額	千 円					

# 平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

## 別紙 1

				所 属	安全環境 部		自然環境 課		自然環境保全 G				
事業名	三方五湖・北潟湖生物生息環境再生事業	含まれる事業数	1	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	平成20年度	事業終了予定年度	一年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
福井新元気宣言における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な県政]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数				3年	<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	<input type="checkbox"/> 無 政 策 [夢と誇りのふるさとづくり]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他								
[事業目的] 本県を代表する湖沼である三方五湖・北潟湖の環境再生に向けて、大学と連携した調査研究や水質浄化対策を実施する。													
[事業内容] [三方五湖] ・湖の代表的生物であるウナギやコイ科魚類をはじめとした多くの生物の生息に影響する環境要因とその改善策についての総合研究を、東京大学と県内の研究者、県試験研究機関等による共同研究チームを編成して実施する。(H21～23 環境省が先進的な環境研究開発を委託する「環境研究・技術開発推進費」採択) ・研究とあわせ、自然再生の一つの手法として、魚介類の生息に適した浅瀬や石積による湖岸の自然再生を行い、効果を検証する。(H21～) [北 潟 湖] ・湖内の魚介類等の生息状況とその環境条件を調査分析し、湖内の自然環境再生に向けた基礎資料とする。(H21～22)													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移				526	67,732	17,157	6.351.1%						
2月現計予算額の推移				526	67,384	16,514	6.317.6%						
決算額の推移				525	45,217	16,514	4.224.7%						
事業効果 の推移	活動 指標	三方五湖研究ミーティング開催		2	2		0.0%					II	
	成果 指標	浅瀬や石積護岸の整備 研究効果等検証数			390								
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度[ ] = [ ]											
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		16,514											
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源	9,694											
	一 般 財 源	6,820											
[事業の評価]													
所 属 的 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 【三方五湖】H21自然環境再生研究において、ミーティングや研究成果報告会を開催し、地元の協力体制の構築と機運の醸成を図った。また、浅瀬や石積による自然湖岸の再生を3箇所・延長390mにおいて試験的に実施し、湖再生に向けた大きな一歩となっている。H21～23で東京大学との共同研究を実施 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 【三方五湖】東京大学との共同研究で、環境再生策を試験的に実施しながら最適な方法を検証していく。また、自然再生協議会を設立し、各機関が連携して湖の保全再生を進める。 【北潟湖】H23は鳥類・トンボ類・水草の生息、生育状況や環境を調査・分析する。				評価に基づく今後の対応								
					<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し						
					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了						
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他							
				見直し額		千 円							



# 平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

別紙 1

				所 属	安全環境 部		自然環境 課		自然環境保全 G			
				事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 開 始 年 度	平成20 年度	事 業 終 了 予 定 年 度	一 年 度	事 務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
					<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補 助 金		経過年数				<input type="checkbox"/> 特別会計 ( )
事 業 名	「自然再生ふくい」行動推進事業	含まれる事業数	1		<input type="checkbox"/> 其 他	<input type="checkbox"/> 其 他		3 年				
福井新元氣宣言における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元氣な県政 ]											
	<input type="checkbox"/> 無 政 策 [夢と誇りのふるさとづくり ]											

[事業目的]  
 かつてはどこにでも見られた身近な動植物が、近くの小川や田んぼ、家のまわりなどで再び見ることができるよう、県民一人ひとりが身近な自然を守り育む県民活動を推進する。  
 【復活が期待される生物】・ホタル 2種 ・チョウ 約40種 ・トンボ 約40種 ・バッタ 約20種 ・クワガタ 約5種 ・魚類 約10種 ・両生類 約7種 ・鳥類 約80種 . . .  
 【活動例】・ビオトープ・池・ふゆみずたんぼ・水田魚道・餌となる植物の植栽・虫を呼ぶはさ木の植栽・菜園・堆肥作り・野鳥の餌台や巣箱設置・外来種防除 . . .

[事業内容]  
 20年度：活動準備会(専門家・民間団体・企業・行政等)の開催  
 検討内容 ○多くの県民が参加し継続できる地域の実情に応じた活動の展開方法  
 ○正しい自然環境再生のあり方と手法のマニュアル化  
 21年度～：活動開始  
 【県のサポート】○生物や地域状況別の自然再生手法を記載したガイドブックを作成し、市町、公民館、小中学校、自然関係団体等に配布  
 ○自然再生支援隊(専門家)が現地へ赴き、再生可能な生物とその手法をアドバイス、継続的サポート ○優良事例の発表会

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				1,470	5,117	2,992	103.3%		
2月現計予算額の推移				1,470	4,219	2,294	70.7%		
決算額の推移				860	3,758		337.0%		
事業効果の推移	活動指標	自然再生支援隊派遣数			94	128	36.2%		I
	成果指標	活動実施数			94	128	36.2%		I
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]		

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	2,294		
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	2,294	

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] H20.11～H21.7において、県民運動の企画、準備、自然再生ガイドブックの作成などを行い、H21.8から自然再生支援隊を結成し、活動の本格的な呼びかけ、サポートを開始した。団体や企業への説明会を開催し、身近な自然の大切さ、再生の意義を伝えた。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し	「生き物百葉箱」推進事業と整理統合
	<input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了			
	<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他			
	見直し額		△ 133 千 円	

[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]  
 H20～21年度は、自然再生ガイドブックやチラシ、ポスターなどを作成し、活動の準備を整えた。H22年度以降は、県民活動の呼びかけと自然再生支援隊によるサポートを行い、活動拡大を図っていく。(準備予算は縮減)

平成22年度事務事業カルテ

別紙1

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業名	希少野生生物種保全対策事業	含まれる事業数	1	所属	安全環境部 自然環境課 自然環境保全 G <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な県政] <input type="checkbox"/> 無 政策 [夢と誇りのふるさとづくり]	事業終了予定年度	平成21年度 経過年数 2年	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]  
 本県の絶滅危惧種の中で、絶滅リスクを回避もしくは低減させなければ、近い将来本県から絶滅する可能性の高い種について、人工増殖、生息環境の保全・再生、維持管理等の保全対策を、地域住民、地元市町、県の3者が共働で実施する。

[事業内容]  
 ○県・市・専門家・地元住民が参画した協議会による保全（地域生物多様性保全活動支援事業）  
 ・協議会の開催、運営 ・現状把握調査  
 ・人工増殖 ・生息環境の保全、再生、創出  
 ・保全地域の監視、採集防止パトロール  
 ○生息地の環境整備、維持管理、人工増殖などの保全対策（自然環境整備交付金事業）  
 ・エロモンのふけ公園整備

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				921	1,565	69.9%		
2月現計予算額の推移				921	1,565	69.9%		
決算額の推移				402	1,565	289.3%		
事業効果の推移								
活動指標	保護対策実施生物種数			1	1	0.0%		II
成果指標	現状把握調査結果							

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	1,565		
財源内訳			
国庫			
その他特定財源			
一般財源	1,565		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] H21生物の専門家による会議を開催し、保護対策が必要な希少生物の選定を行った。県内から絶滅する可能性の極めて高いゲンゴロウの一種について、専門家や地元住民を交えた検討会を開催し、保全計画を作成した。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 希少野生生物保全策の条例化を図るとともに、県、地元市町、地元団体が連携した保護対策を進めていく。	評価に基づく今後の対応 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 見直し額 千円
-------	--	---

# 平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

別紙 1

				所 属	安全環境 部		自然環境 課		自然環境保全 G			
				事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 開 始 年 度	平成21 年度	事業終了 予定年度	一 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務
					<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補 助 金		経過年数				<input type="checkbox"/> 法 定 受 託 事 務
					<input type="checkbox"/> 其 他	<input type="checkbox"/> 其 他		2 年				

[事業目的]  
 高病原性鳥インフルエンザを早期に発見し、人や家きんへの感染予防および感染拡大防止を図るため、野鳥の感染状況を調査する。

[事業内容]  
 (1) 鳥類生息状況等調査  
 ・ 日常的監視…日常的に、地域における野鳥の生息種や渡り鳥の飛来状況、死亡状況等について情報を収集。(日本野鳥の会に依頼)  
 ・ 発生時巡視…近隣諸国や近隣県でウイルスが検出された場合の県内巡視  
 (2) ウイルス保有状況調査  
 ・ 死亡野鳥等調査…野鳥等の死亡個体や傷病個体から検査試料(スワブ)を採取して検査を実施  
 ・ 糞便採取調査 …湖で定期的に野鳥の糞便を採取し、検査を実施

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移					985	736	△ 25.3%				
2月現計予算額の推移					985	736	△ 25.3%				
決算額の推移					342	559	63.5%				
事業効果 の推移	活動 指標	検査個体数			1	40	3,900.0%		I		
	指標	野鳥調査回数			90	87	△ 3.3%		III		
	成果 指標	鳥インフルエンザ発生件数			0	0	0.0%		II		
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]					

区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)		736		
財源内訳	国 庫			
	その他特定財源			
	一 般 財 源	736		

[事業の評価]

所 属 の 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 鳥類の状況の各種調査が、鳥インフルエンザの早期発見につながる。		評 価 に 基 づ く 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 鳥インフルエンザの発生に備え、引き続き、野鳥の感染状況を調査していく。			<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
				<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 其 他
				見 直 し 額	千 円	



平成22年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )							
事業名 福井新元氣宣言における 位置付け		生物多様性条約第10回締約国会議開催連携事業 含まれる事業数 1	所属 事業区分	安全環境 <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	部 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	自然環境 平成22年度 経過年数 1年	課 自然環境保全	22年度 事務区分	事業終了 予定年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的] 平成22年10月に名古屋市において開催される生物多様性条約第10回締結国会議の参加者に本県の優れた自然や保全活動等を紹介し、環境保全活動の更なる展開につなげる。											
[事業内容] 中部各県が会議支援実行委員会に参画し、連携企画として、会議参加者に各県の優れた自然や生物多様性保全活動等をPR (1) 特設会場でのブース展示 COP10本会議場の隣接地での国際的な発表・交流展示会 ・各国政府、自治体、国際機関、NGO/NPO、大学、企業等が参加 ・本県の生物多様性保全活動をパネル、パンフレット、映像で紹介 (2) 本県へのエクスカージョン(小旅行) 会議参加者が本県の自然や歴史、伝統文化などを体験											
(単位：千円)											
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類
当初予算額の推移						3,411					
2月現計予算額の推移						2,384					
決算額の推移											
事業効果 の推移	活動 指標	出展数									
	成果 指標	来場者数									
	指標	エクスカージョン参加者数									
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標			年度 [ ]	= [ ]			
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項			
予 算 額 (単位：千円)		2,384									
財源内訳	国 庫										
	その他特定財源										
	一 般 財 源		2,384								
[事業の評価]											
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 平成22年10月に名古屋市において開催された生物多様性条約第10回締結国会議の参加者に本県の優れた自然や保全活動等を紹介した。						評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 生物多様性条約第10回締結国会議での成果を更なる環境保全活動の展開につなげる。							<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input checked="" type="checkbox"/> 完 了	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他	
								見直し額	△ 3,411 千円		

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
				所 属	安全環境	部	自然環境	課	自然環境保全	G		
事業名	鳥獣保護員設置費	含まれる事業数	1	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	昭和38年度	事業終了予定年度	一年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
福井新元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		事業開年				経過年数
[事業目的] 鳥獣保護事業の実施に関する業務を補助する鳥獣保護員を設置する。												
[事業内容] 鳥獣保護員は、鳥獣の保護および狩猟について知識を有する者のうちから適切な者を知事が委嘱し、次の業務を行う。（任期2年、25名） (1) 鳥獣保護区、休猟区、特定猟具使用禁止区域の管理 (2) 狩猟の取締、狩猟者の指導 (3) 鳥獣の保護 (4) 鳥獣保護思想の普及啓発 (5) 鳥獣の諸調査 (6) その他必要な事項												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移		1,892	1,892	1,892	1,892	1,892	0.0%					
2月現計予算額の推移		1,892	1,892	1,892	1,892	1,892	0.0%					
決算額の推移		1,783	1,872	1,865	1,818	1,604	△ 2.4%					
事業効果 の推移 指標	活動	鳥獣保護員人数	25	25	25	25	0.0%					II
	指標	延巡回回数	773	715	772	890	5.3%					I
	成果	治療個体数	274	383	339	418	17.2%					I
	指標											
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]				
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予算額 (単位：千円)		1,892						鳥獣保護および狩猟の適正化を推進するためには、山野等広範な現地における指導監督体制の整備が必要で、これを県の常勤職員だけで行うことは困難であり、鳥獣保護法で鳥獣保護員の制度が設けられている。 鳥獣保護員が山林原野を巡回することにより密猟等の防止が図られている。 目的税：狩猟税				
財源内訳	国 庫											
	一般財源	1,892										
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 山林原野や水辺など現場における巡回指導により鳥獣の保護、狩猟の適正化が図られている。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 鳥獣保護及び狩猟の適正化の推進のためには、山野等広範な地域における指導監督体制を整える必要があるため、鳥獣保護員制度は今後も継続する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他						
				見直し額	千 円							

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )							
事業名 福井新元氣宣言における 位置付け		狩猟免許試験および講習審査費 含まれる事業数 1 <input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]		所 属 事 業 区 分	安全環境 <input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	部 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	自然環境 昭和38年度 経過年数 48年	課 自然環境保全	事業終了 予定年度 一 年 度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的] 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護法）に基づく狩猟免許試験および更新講習審査を実施する。											
[事業内容] 狩猟者が狩猟に関して必要とされている適性、技能および知識についての試験ならびに免許更新のために3年ごとに受講することが必要とされている講習審査を実施する。 (1) 狩猟免許試験 2回 (適性試験（視力・聴力・運動能力）、知識試験、技能試験) (2) 狩猟講習審査 2回 (講習、適性試験（視力・聴力・運動能力）)											
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)											
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		結果分類	
当初予算額の推移		336	137	141	249	168	△ 3.1%				
2月現計予算額の推移		336	137	141	249	287	8.9%				
決算額の推移		245	137	141	190	287	11.2%				
事業効果 の推移	活動 指標	狩猟免許試験開催数	2	2	2	2	3	12.5%	I		
	指標	狩猟講習審査開催数	7	2	2	7	2	26.8%	I		
	成果	受験者数（合格者数）	77(66)	66(56)	38(32)	130(115)	298(274)	78.7%	I		
	指標	講習受講者数	756	179	246	754	193	23.3%	I		
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]				
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況			特 記 事 項				
予 算 額 (単位：千円)		287		H22～狩猟免許試験3回/年			鳥獣保護法により、狩猟免許取得のためには試験を、更新のためには3年ごとに講習審査をそれぞれ受けることとされている。				
財源内訳	国 庫							目的税：狩猟税			
	その他特定財源		1,701								
	一 般 財 源		△ 1,414								
[事業の評価]											
所 属 の 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 狩猟免許試験や講習審査を通して鳥獣の保護および狩猟の適正化が図られている。				評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 鳥獣保護法により、狩猟免許を取得するためには狩猟免許試験を、その更新のためには更新講習審査をそれぞれ受けることとされているため、今後も継続する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他			
						見直し額		千 円			

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 ( ) <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
事業名 鳥獣保護および放鳥事業 含まれる事業数 1		所属 安全環境部 自然環境課 自然環境保全 G		<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他						
福井新元気宣言における位置付け <input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]		事業区分 <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他		昭和38年度経過年数 48年 事業終了予定年度 一年度 事務区分 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務						
[事業目的] 狩猟鳥獣（キジ）の生息環境が年々悪化し、生息数が減少しているため、放鳥により生息数維持を図る。										
[事業内容] 狩猟鳥獣（キジ）の増加を図るため必要と認められる箇所に繁殖に必要な羽数を放鳥する。 キジの放鳥（24箇所 480羽） 委託先：（社）福井県猟友会										
(単位：千円)										
[予算額および指標の推移等]										
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		1,920	1,920	1,920	2,040	2,040	1.6%			
2月現計予算額の推移		1,920	1,920	1,920	2,040	2,040	1.6%			
決算額の推移		1,920	1,920	1,920	2,040	2,040	1.6%			
事業効果の推移	活動指標	放鳥数	480	480	450	480	480	0.1%	II	
	成果指標	狩猟におけるキジの捕獲数	838	867	935	698		△ 4.7%	III	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度[ ] = [ ]				
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況			特記事項			
予算額 (単位：千円)		2,040		平成13年度までは90日齢のキジを600羽放鳥していたが、厳しい生存競争に勝ち残り、より高い生存率から従来以上の事業効果を目指すため、14年度から120日齢以上のキジを480羽放鳥している。			狩猟鳥キジの生息数の減少に対する保護事業として重要な事業である。 狩猟登録者1人当りのキジの狩猟数：H10-1.1羽 H20-0.6羽			
財源内訳	国 庫							目的税：狩猟税		
	その他特定財源									
	一般財源		2,040							
[事業の評価]										
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] ・放鳥により、キジの生息数の急激な減少が抑えられている。			評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 狩猟鳥キジの生息数の減少に対する狩猟税充当の保護増殖事業として重要であり、今後も継続する。				<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
						見直し額				



平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
				所 属	安全環境	部	自然環境	課	自然環境保全	G		
事業名	保護区等の新設維持管理費	含まれる事業数	1	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	昭和38年度 経過年数 48年	事業終了 予定年度	-年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
福井新元氣宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金						<input type="checkbox"/> その他

[事業目的]  
野生鳥獣の保護を図るために鳥獣保護区を指定し、その維持管理を行う。

[事業内容]  
①鳥獣保護区（特別保護地区）、休猟区、特定猟具使用禁止区域、指定猟法禁止区域における制札の設置および撤去  
②鳥獣保護区（特別保護地区）、休猟区、特定猟具使用禁止区域、指定猟法禁止区域の管理

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		1,147	1,149	1,458	1,089	1,141	1.7%			II
2月現計予算額の推移		1,147	1,149	1,458	1,089	1,141	1.7%			
決算額の推移		1,132	1,117	1,419	1,089	1,053	△ 0.2%			
事業効果 の推移	活動 指標	保護区等の箇所数	109	111	112	113	115	1.4%		
	成果 指標									
計画の達成状況		[目標名]	年度整備水準 [ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]			

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	1,141		禁猟区での違法狩猟等を未然に防止するためには現地における標識の設置が不可欠である。 また、指定期間満了時には撤去を、損傷等があった場合には補充を行い、狩猟者に対する周知を図る必要がある。 目的税: 狩猟税
財源内訳	国 庫		
	一般財源	1,141	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 鳥獣保護区等の指定、維持管理により鳥獣の保護が図られている。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 鳥獣の保護のためには、保護区等の指定と管理が不可欠であり、今後も継続する。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
				所 属	安全環境 部	自然環境 課	自然環境保全 G			
事 業 名	狩猟者登録および狩猟事務費	含まれる事業数	1	事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事 業 開 始 年 度 昭和38年度 経過年数 48年	事業終了 予定年度 一年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
福井新元気宣言における 位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]									
[事業目的] 狩猟者の登録および指導監督により、狩猟の適正化を図る。										
[事業内容] ①狩猟者登録事務 毎年度、県内で狩猟を行う者を申請に基づいて登録し、狩猟者登録証・狩猟者記章を交付する。 ②狩猟に関する事務 鳥獣保護員と連携し、狩猟者の指導監督を行う。 県内の鳥獣保護区等を記載した位置図を作成し、狩猟者および関係機関に配布、周知する。 狩猟者の責務、関係法令、鳥獣の判別、銃器等猟具の取扱い等について解説した狩猟読本やチラシを配布する。										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)										
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		
当初予算額の推移		1,491	1,481	1,418	1,385	1,372	△ 2.1%			
2月現計予算額の推移		1,491	1,481	1,525	1,385	1,372	△ 2.0%			
決算額の推移		1,385	1,451	1,457	1,385	1,071	△ 5.6%			
事業効果 の推移	活動 指標	登録者数(県内在住+県外在住)	1,667	1,642	1,546	1,554	△ 0.8%	Ⅲ		
	成果 指標							特記事項に記載		
	指標									
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]		
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項		
予 算 額 (単位：千円)		1,372						鳥獣保護法により、狩猟者は、狩猟場所を管轄する都道府県において狩猟者登録を行うこととされている。		
財源内訳	国 庫								目的税：狩猟税	
	その他特定財源		1,372							
	一 般 財 源		0							
[事業の評価]										
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 狩猟者の指導監督、鳥獣保護区等位置図や狩猟読本の配布などにより適正で安全な狩猟を推進している。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	狩猟事務の外部委託による縮減	
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 狩猟の適正化および安全確保のため、今後も継続する。					<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了		
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> その他		
						見直し額	△ 28 千 円			

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
事業名 自然保護センター資料収集事業		含まれる事業数 1	所属 事業区分	安全環境 <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	部 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	自然環境 平成2年度 経過年数 21年	課 自然公園管理	G <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
福井新元氣宣言における 位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]								
[事業目的] 自然保護センターにおいて、福井県の自然に関する資料等を収集し、自然保護思想の普及啓発に活用する。										
[事業内容] 貴重な動植物、岩石、その他自然史記録資料（古文書、書籍等）を現物、標本、映像などで収集、保存し、展示資料の充実を図るとともに、自然愛好家や学校関係者による調査研究用や学習用としての利用に供する。										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)										
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		432	432	432	378	378	△ 3.1%			
2月現計予算額の推移		432	432	432	378	378	△ 3.1%			
決算額の推移		432	545	402	378	378	△ 1.5%			
事業効果 の推移	活動 指標	標本製作数	10	11	16	16	△ 1.8%		Ⅲ	
	成果 指標	来館者数	40,115	40,033	40,699	41,009	41,091	0.6%		Ⅱ
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]			
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況			特記事項			
予算額 (単位：千円)		378		平成14年度に自然環境の変化等を踏まえ、来館者のニーズに応えるため常設展示を更新した。			標本は、自然保護センターで行う調査事業で発見したものや県民から持ち込まれるもの、センターで保護後死亡した動物などについて製作している。剥製等にしなければ保存が効かないものであり、毎年継続して行う必要がある。			
財源内訳	国 庫									
	その他特定財源									
	一般財源		378							
[事業の評価]										
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 県内の自然や野生動植物についての貴重な資料の収集・展示により、自然保護センター来館者を中心に、広く県民の自然保護意識の高揚が図られている。			評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 県内の自然や野生動植物についての資料を収集している県の施設は他になく、また、生物相の変遷の実態や絶滅して二度と見ることのできない生物の標本を後世に残すことは自然史施設としては重要な使命であり、今後も継続して資料を収集していく。				<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他			
					見直し額	千 円				

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名		自然環境保全地域管理事業	含まれる事業数	1	所属	安全環境部	自然環境課	自然環境保全	G	
福井新元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	昭和60年度 経過年数 26年	事業終了 予定年度 一年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]  
 貴重な湿性植物が豊富に生育する県内最大の湿原で、県の自然環境保全地域に指定されている「池河内湿原」の貴重な自然環境を保全する。

[事業内容]  
 池河内湿原の保全のための管理業務（草刈・水路の底さらい・ゴミの撤去・巡視等）  
 貴重な植物 … 県内で池河内湿原にのみ生息し池河内が日本の南限であるもの（ヤナギトラノオ（県絶滅危惧Ⅰ類）、ミズドクサ（県域準絶滅）） 県絶滅危惧Ⅰ類（サワラン、ヤチスギラン）  
 県絶滅危惧Ⅱ類（トキノソウ、ムラサキミミカキグサ、サンショウモ、オオニガナ、ミカツキグサ）

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移		300	300	353	1,980	3,308	136.4%				
2月現計予算額の推移		300	300	353	1,953	3,308	135.1%				
決算額の推移		300	273	353	1,953	3,150	133.7%				
事業効果 の推移	活動 指標	草刈	2	2	2	2	0.0%		Ⅱ		
	成果 指標	巡視回数		27	42	17	△ 2.5%	H19に地元自治会委託から業者委託に切替 H21～23 雇用基金事業により保全策実施	Ⅲ		
	成果 指標							特記事項に記載			
計画の達成状況		〔目標名〕		年度整備水準〔 〕 / 整備目標		年度〔 〕 = 〔 〕					

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	3,308	・H19に地元自治会委託から業者委託に切替 ・H21～23 経済・雇用対策のための緊急雇用基金事業により、水田再生、外来植物除去などを加えて実施	池河内湿原は県内最大の湿原で貴重な湿原植物が豊富に生育しており県の自然環境保全地域に指定されている。 湿原は放置することにより改変していくため、草刈・水路の底さらい、ゴミの撤去、巡視などによる管理が不可欠である。 当事業により池河内の環境は良好な状態に保たれており、今後も継続する必要がある。
財源内訳	3,308		
国 庫			
	0		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 放置することにより湿原は改変していくため、貴重な自然を守るためには適切な管理が必要である。 適切な管理により湿原の荒廃が抑えられ、貴重な動植物が生息する自然環境が守られている。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 池河内湿原の貴重な自然環境を保全するため、今後も継続する。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )							
				所 属	安全環境 部		自然環境 課		自然環境保全 G			
事 業 名	自然公園利用促進事業	含まれる事業数	1	事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 開 始 年 度	昭和60 年度	事 業 終 了 予 定 年 度	一 年 度	事 務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務
福井新元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補 助 金		経過年数				26 年
[事業目的] 自然公園内の施設の維持管理や環境美化を行い、景観保全と適切な利用を図る。												
[事業内容] (1) 自然公園の利用促進対策 案内板、遊歩道等、公園施設の整備・修繕（白山国立公園、越前加賀海岸国定公園、若狭湾国定公園、奥越高原県立自然公園） (2) 自然公園の環境美化対策 拠点地区の美化清掃（三方海中公園） (3) 登山歩道の草刈り（経ヶ岳三ノ峰線歩道、平泉寺経ヶ岳線歩道、鳩ヶ湯赤兎山線歩道、刈込池周回線歩道）												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移		3,740	3,740	3,740	3,740	3,440	△ 2.0%					
2月現計予算額の推移		3,740	3,740	3,740	500	3,100	108.4%					
決算額の推移		3,740	3,598	3,193	500	2,670	83.7%					
事業効果 の推移	活動指標	三方海中公園のゴミ拾い回数	4	4	4	4	0.0%					II
	成果指標	登山道の草刈延長 km	12.48	12.48	12.48	12.48	0.0%					II
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]				
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項				
予 算 額 (単位：千円)		3,100		平成13年度～平成14年度の2か年で自然歩道のガイドマップ作成に助成				自然公園においては、公園内の環境美化対策や利用施設の良好な維持管理を行うことが、公園の景観保全と適正な利用促進のための最重要課題である。				
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源		3,100									
	一 般 財 源		0									
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 自然公園の環境美化や利用施設の良好な維持管理が行われ、景観保全と利用促進につながっている。				評 価 に 基 づく 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 自然公園の景観維持と適切な利用促進のため、今後も継続する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
<input type="checkbox"/> 整 理 統 合						<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他					
				見直し額		千 円						

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
事業名 福井新元氣宣言における 位置付け		自然保護活動実践事業 <input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]	含まれる事業数 5	所 属 事 業 区 分 <input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	安全環境 部 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	自然環境 課 平成2年度 経過年数 21年	自然環境保全 G <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的] 県民の自然とのふれあいの場の拡大と自然保護意識の醸成を図る。										
[事業内容] ①自然観察会開催事業 …県内各地で、当該地域の自然の特性に応じたテーマを設定した自然観察会を開催（8回/年） ②自然体験講座開催事業…スノーケリングによる海の自然観察会や磯観察会等を開催 ③自然愛護事業 …自然保護に関するセミナー（1回/年）、愛鳥教室（1回/年） ④傷病鳥獣救護委託事業…ケガや疾病を負った野生鳥獣を救護し、野生に復帰させるため、管轄区域ごとの嘱託医により、傷病野生鳥獣の治療を実施。（福井県獣医師会に委託） ⑤館内・観察の森等解説ガイド事業…自然保護センターの来館者に対し、館内案内と毎回テーマを設定しての自然観察の森（冬期は野鳥観察）のガイド（観察会）を実施。										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)										
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		4,012	5,396	7,459	7,459	8,391	21.3%			
2月現計予算額の推移		4,012	5,396	7,459	7,394	8,342	21.2%			
決算額の推移		4,002	5,376	7,459	6,892	7,980	20.3%			
事業効果 の推移	活動 指標	自然観察会・自然体験講座開催回数	37	39	34	53	40	6.0%	I	
	指標	嘱託医の配置数	24	25	25	25	25	1.1%	II	
	成果 指標	自然観察会・自然体験講座参加者数	949	926	906	1,003	1,110	4.2%	II	
	指標	治療个体数	274	383	339	418		17.2%	I	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]			
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況			特記事項			
予 算 額 (単位：千円)		8,342					自然観察会等を開催した後は参加者にアンケートに答えてもらい、概ね好評を得ているが、意見などがあれば事業の改善に活用している。			
財源内訳	国 庫									
	その他特定財源		4,426							
	一 般 財 源		3,916							
[事業の評価]										
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 主催事業である自然観察会、自然体験講座には毎年1,000人前後の参加があり、自然とのふれあいの場を提供している。 また、傷病鳥獣も、毎年多数救護し、野生への復帰を図っている。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し		
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 県内の豊かな自然を舞台にした自然観察会、自然体験講座、自然保護セミナー等は、自然保護思想の普及啓発を図るために有効であり継続する。 また、県民の自然保護に対する関心が高まる中で、県内各地で保護される傷病鳥獣が多く、救護事業を継続する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了		
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他		
						見直し額	千 円			

平成22年度事務事業カルテ

				所 属	安全環境		部		自然環境		課		自然公園管理		G		
				事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実 行 予 算	事 業 開 始 年 度	平 成 2 年 度 経 過 年 数	2 1 年	事 業 終 了 予 定 年 度	一 年 度	事 務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 一 般 会 計	<input type="checkbox"/> 特 別 会 計 ( )	<input type="checkbox"/> 企 業 会 計 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務	
					<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補 助 金							<input type="checkbox"/> 其 他	<input type="checkbox"/> 法 定 受 託 事 務			
事 業 名		研修養成事業	含まれる事業数	4													
福井新元氣宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ]															
		<input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]															
[事業目的]																	
福井県の優れた自然環境を保全するためには、県民一人一人が自然に関心を持ち、これを守り育てる豊かな心を持つことが必要である。このため、自然に関心を持つ県民の増大を図るための一つの方法として、多数のナチュラルリスト等を養成し、自然保護思想の普及啓発に努める。																	
[事業内容]																	
自然保護センター、海浜自然センターで実施。 来館者やセンター主催行事の参加者の中から、自然に関心のある方をナチュラルリストとして登録する。またナチュラルリストの中から、自然観察会等の指導ができるナチュラルリストリーダーを養成する講習会を実施するとともに、ナチュラルリストリーダーの資質向上を目指し、県外の自然保護研修に派遣する。 福井県の自然情報を掲載した普及啓発誌を年3回発行する。																	
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)																	
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類								
当初予算額の推移		2,125	1,518	1,518	1,518	1,518	△ 7.2%										
2月現計予算額の推移		2,125	1,518	1,518	1,518	1,514	△ 7.2%										
決算額の推移		1,998	1,467	1,518	1,182	1,244	△ 10.0%										
事業効果の推移	活動指標	ナチュラル登録者累計数	8,354	8,623	8,880	8,989	9,351	2.9%		II							
	成果指標	ナチュラルリーダー数	98	99	95	100	103	1.3%		II							
	成果指標	ナチュラルリーダー活動回数	175	168	170	175	210	5.0%	ナチュラルリストリーダーが実際に観察会等で活動した延べ人数	I							
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]											
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項									
予 算 額 (単位：千円)		1,514						ナチュラル登録者は9,000名を超え、県下全域にナチュラルリストの輪を拡大している。今後は、県民すべてナチュラルリストを目指し、その輪を広げていきたい。また、ナチュラルリストリーダーは、自然観察会等の行事の指導や普及啓発誌の投稿などを通してセンター事業の協力者であるとともに、地域の自然保護の普及啓発の推進者となる。									
財源内訳	国 庫																
	その他特定財源	1,514															
		一 般 財 源	0														
[事業の評価]																	
所 属 の 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価]		評 価 に 基 づ く 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し											
	ナチュラルリスト登録者は毎年増加し、県下全域にナチュラルリストの輪を拡大している。またナチュラルリストリーダーは自然観察の講師などとして、毎年安定して活動している。			<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了											
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 其 他											
	自然を守り育てる豊かな心を持つナチュラルリスト等を増やすため、今後も事業の充実を図り、より一層の広報に努めていく。			見 直 し 額	千 円												

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )				
事業名	調査研究事業	含まれる事業数	2	所 属	安全環境 部	自然環境 課	自然公園管理	G	
福井新元氣宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	昭和55年度 経過年数 31年	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的]									
自然保護センター、海浜自然センター等で、鳥類をはじめとする野生動植物の生息調査を行い、保全対策等の基礎資料とする。									
[事業内容]									
(1) 渡り鳥保全調査 福井県に飛来する渡り鳥の生息状況を自然保護センターが調査し、その保全対策に資するとともに、鳥獣保護区等の設定等の基礎資料として活用する。 (2) ガンカモ科鳥類生息調査 福井県内に渡来するガン・カモ科鳥類の渡来状況を日本野鳥の会福井県支部に委託して調査し、鳥獣保護行政に資する。 (3) カワウ生息調査 福井県内に生息するカワウの生息数や分布状況を調査し、中部近畿圏の広域保護管理を進める基礎資料とする。 (4) キジの放鳥効果測定調査 放鳥した狩猟鳥（キジ）の追跡調査を行い、放鳥した地域での定着状況を把握する。（H21～休止） (5) 自然観察の森周辺環境調査 自然保護センター一帯に広がる自然観察の森（約28ha）の周辺の生物のデータ（昆虫、両生類、植物等）を収集、解析し、自然観察会や本館展示資料等に活用する。 (6) 食見地区周辺調査 海浜自然センターのある食見地区周辺海域の生物種、生物量を調査し、自然環境保全の基礎資料とすると共に展示資料や観察会用資料として活用する。									
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)									
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移		1,197	1,748	1,748	1,448	1,387	6.2%		
2月現計予算額の推移		1,197	1,748	1,748	1,448	1,387	6.2%		
決算額の推移		1,197	1,714	1,748	1,306	1,191	2.8%		
事業効果 の推移	活動 指標	ガンカモ科鳥類調査箇所数	17	17	17	17	0.0%		II
	成果 指標	ガンカモ科鳥類記録数	27,215	29,662	22,752	23,238	26,231	0.2%	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]		
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況			特記事項		
予 算 額 (単位：千円)		1,387		キジの放鳥効果測定調査・・・調査データの有効性を検討の結果H21から休止狩猟者から報告されるキジの捕獲数に減少が見られる場合は調査方法を検討する。			○渡り鳥保全調査：鳥獣保護区内で5か年で一巡するよう継続○ガンカモ科鳥類生息調査：環境省でとりまとめ○キジの放鳥効果測定調査：放鳥事業の効果測定するもので同事業と表裏一体○カワウ生息調査：中部近畿カワウ広域協議会の関係県が連携しての調査○自然観察の森、食見地区周辺調査：両センターの周辺の自然環境を調査することにより、とくに両センターの普及啓発事業や展示資料の収集に大きく貢献		
財源内訳	国 庫								
	その他特定財源	1,387							
	一 般 財 源	0							
[事業の評価]									
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価]			評価に基づき今後の対応			<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他		
	従来より、各調査を継続して実施していることにより、経年変化、動向が把握でき、保全対策検討の重要な基礎資料となっている。								
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]								
	県内の野生動植物や自然環境の状況を把握するため、今後も各調査を継続する。								
見直し額		千 円							



平成22年度事務事業カルテ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )										
事業名		自然公園管理指導事業	含まれる事業数	4	所 属	安全環境	部	自然環境	課	自然公園管理			G	
福井新元氣宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年 昭和48年度 経過年数 38年	事業終了 予定年度 一年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的]														
自然公園の景観保全、動植物保護、および利用者の安全確保を図るため、公園内の巡視や施設の維持管理、各種情報収集を行う。														
[事業内容]														
(1) 自然公園管理協力員(40名)による巡視、利用者指導 (2) 自然公園内の施設の維持管理(地元市町等に委託) (3) 重要地域の買上げ・借上げによる保全 (4) 自然公園についての各種情報収集														
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)														
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等					結果分類	
当初予算額の推移		3,318	3,268	3,267	3,305	3,305	△ 0.1%							
2月現計予算額の推移		3,268	3,268	3,207	3,309	3,311	0.4%							
決算額の推移		3,268	3,267	3,205	3,309	3,311	0.4%							
事業効果 の推移	活動 指標	自然公園管理協力員人数	40	40	40	40	39	△ 0.6%						Ⅲ
	成果 指標								特記事項に記載					
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]						
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項						
予 算 額 (単位：千円)		3,311						自然公園管理協力員による巡視、利用者指導により、公園利用者の安全確保が図られている。 ○自然公園内景観保全地・施設敷地買上面積 363.2ha(H21末) ○自然公園内景観保全地・施設敷地借上面積 21.1ha(H21末)						
財源内訳	国 庫													
	その他特定財源		6											
	一 般 財 源		3,305											
[事業の評価]														
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 自然公園内の巡視や施設の維持管理により、適切な利用が図られている。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円						
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 自然公園の景観保全、動植物保護、および利用者の安全確保を図るため、今後も継続する。 H23重要景観地借上げについては、地権者と交渉し単価の改定を行った。													